

令和 6 年 6 月 13 日現在

機関番号：33808

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2021～2023

課題番号：21K00294

研究課題名（和文）海洋文化圏から見る浦島伝説の宗教観

研究課題名（英文）The Religious Perspectives on the Urashima Legend from the Perspective of Maritime Cultural Spheres

研究代表者

畑 恵里子（HATA, Eriko）

静岡英和学院大学・人間社会学部・教授

研究者番号：50581229

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,100,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、浦島伝説を基軸に据えて、おもだった伝説を海洋ごとに区分けして、異界に関する表現方法の特徴を探りだすことを目的とした。なお、浦島伝説については日本海を舞台とするものが最古の記録とされている。本課題遂行のため、浦島伝説関連資料が集中して保管されている京都府舞鶴市指定文化財の糸井文庫の調査も実施した。長寿や新年等による祝祭性、歌舞伎、洒落、笑い、他伝説との融合等を明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

海洋に関する伝説という視点から、本務校の学生たちや一般のかたがたを対象としたパネルディスカッションを開催することができた。その際、国内外に拠点を持つ研究者を招聘し、その後も会合を設けて伝説への理解のための対話を行うことができた。また、伝説享受の経路の手がかりとして、心理学研究者の助力を得ることができた点は、日本文学の研究方法としては前例がなく、挑戦とともに有意義な体験となった。浦島伝説に関する研究としては画期的であったと考える。併せて、京都府舞鶴市指定文化財である糸井文庫のデータベースを微力ながら発展させることができた。

研究成果の概要（英文）：The purpose of this study is to explore the characteristics of expressions related to the other world by classifying major legends by ocean, with the Urashima Legend as the main axis of the study. The oldest record of the Urashima Legend is said to be the one set in the Sea of Japan.

To accomplish this task, I conducted a survey of the Itoi Bunko, a cultural property designated by Maizuru City, Kyoto Prefecture, where materials related to the legend of Urashima are concentrated and stored.

The linguistic expressions and illustrations reveal the festive nature of the festival, including longevity and the New Year, Kabuki, puns, laughter, and fusion with other legends.

研究分野：日本文学

キーワード：浦島伝説 霊力 異界 女性 地域 海洋 浦島伝説享受

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

なぜ浦島伝説を「海洋の伝説」という着眼点から分析するのか。それは、古代に発生して現在も全国に定着している代表的な日本文学のひとつであり、「龍宮」という海の異界が鍵となるがゆえに、浦島伝説は日本文化の宗教的世界観の解明に資する指標となるためである。

浦島伝説は全国に点在するのだが、古代の記録では舞台は丹後国、つまり日本海である。日本海の海洋文化圏と他地域の海洋文化圏とでは、宗教的世界観は相違すると考えられる。

海洋に関する文学表現から日本本土の宗教観を浮上させ、文化史的指標としての浦島伝説を解明したいと考えた。

2. 研究の目的

1つ目の目的は、日本本土の宗教文化の解明である。本研究では、海洋ごとの異界表現の差異に着目して分析しようとした。

2つ目の目的は、近世の浦島伝説の享受の解明である。浦島関連資料が集中的に所蔵されている京都府舞鶴市系井文庫の資料の分析を行えば、古代の伝説が近世に大衆化して現在も認知度の高い作品となった経緯の一端が解明できると考えた。

3. 研究の方法

海洋の異界をめぐる言語に焦点を絞った考察を行った。舞鶴市系井文庫の浦島伝説新資料分析に関して立命館大学アート・リサーチセンターとの国際共同研究を行った。舞鶴市系井文庫データベースの拡充に携わった(立命館大学アート・リサーチセンター国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点」国際共同研究採択課題〔研究設備・資源活用型〕採択、研究代表者 畑恵里子)。

4. 研究成果

1 研究発表を行った。「増幅あるいは継続する身体性 - 『水江浦島 対紫雲筐』の乙姫・浦島・輪廻転生 - 」という論題で招待発表を行った(“Embodiment: Representations of Corporeality Visualizing Texts, Reading Images Workshop IV”、ダートマス大学、アメリカ合衆国、令和3(2021)年12月)。

2 主に舞鶴市系井文庫蔵本を対象として、近世浦島享受の一端を明らかにした。対象とした作品は、舞鶴市系井文庫蔵『絵本龍宮遊』、舞鶴市系井文庫蔵『竜宮珍説堂上雑説 通世界二代浦島』、舞鶴市系井文庫蔵『新春 龍宮物語』、舞鶴市系井文庫蔵『水江浦島 対紫雲筐』等である。これらの言語表現や挿絵等から、近世浦島享受における祝祭性、笑い、他伝説との融合等を明らかにした。

3 海外や丹後に拠点を持つ日本文学研究者や歴史学研究者を招聘して、海洋に関するパネルディスカッションを開催した。パネリスト、ご協力くださったかたがた、ご参集くださったかたがたへ、心からの感謝を記す。

題名:「海洋文化としての伝説・楽園・異界」"Legends, Paradise, and the Other World, As Maritime Cultures"

会場: 静岡英和学院大学(静岡県静岡市)

日時: 令和4(2022)年10月

パネリスト: 小山元孝氏、シュミット堀佐知氏、園山千里氏(五十音順)

主催・司会等: 畑恵里子

後援: 静岡市、ポーランド広報文化センター(五十音順)

4 パネルディスカッションを主軸とした畑恵里子編集『享受される海洋文化 伝説・楽園・異界』(武蔵野書院、令和5(2023)年)を上梓した。同書ではパネリストたちの単著論文等も収載した。畑の単著論文では、アンケートを通じて国内伝説の享受の様相を分析して、浦島伝説の認知度や享受の経路を確認した(静岡英和学院大学研究倫理委員会承認済)。アンケート実施・分析に際して心理学研究者である林智幸氏の協力を得たことを付言する。パネリスト、ご協力くださったかたがたへ、心からの感謝を記す。

5 「科学研究費基盤研究(C)「海洋文化圏から見る浦島伝説の宗教観」研究成果公開HP」を開設した(令和3(2021)年~令和6(2024)年、<https://urashima.sakura.ne.jp/top/>)。

6 立命館大学アート・リサーチセンターとの共同研究を行った(立命館大学アート・リサーチセンター国際共同利用・共同研究拠点「日本文化資源デジタル・アーカイブ国際共同研究拠点」国際共同研究採択課題〔研究設備・資源活用型〕採択、研究代表者：畑恵里子)。糸井文庫閲覧システムへ翻刻データを随時入力し、システムの充実化を図ることができた。

以上

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計4件（うち査読付論文 1件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 畑恵里子	4. 巻 21
2. 論文標題 「舞鶴市系井文庫蔵『竜宮説堂上雑説 通世界二代浦島』に見える浦島伝説享受と玉取伝説 付、翻刻」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 静岡英和学院『静岡英和学院大学・静岡英和学院短期大学部紀要』	6. 最初と最後の頁 1 - 10
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 畑恵里子	4. 巻 20
2. 論文標題 「舞鶴市系井文庫蔵『絵本龍宮遊』に見える浦島伝説享受の言語遊戯と祝祭性 付、翻刻」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 静岡英和学院『静岡英和学院大学・静岡英和学院短期大学部紀要』	6. 最初と最後の頁 21-32
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 畑恵里子	4. 巻 57
2. 論文標題 「変容する浦島伝説の身体性 舞鶴市系井文庫蔵『水江浦島 対紫雲筐』の近世享受」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本文芸学会『日本文藝學』	6. 最初と最後の頁 1-24
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 畑恵里子	4. 巻 22
2. 論文標題 舞鶴市系井文庫蔵『新春 龍宮物語』新春の寿ぎと浦島伝説 付、翻刻	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 静岡英和学院『静岡英和学院大学・静岡英和学院短期大学部紀要』	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計1件（うち招待講演 1件 / うち国際学会 1件）

1. 発表者名 畑恵里子
2. 発表標題 「増幅あるいは継続する身体性 - 『水江浦島 対紫雲筐』の乙姫・浦島・輪廻転生 - 」
3. 学会等名 Embodiment: Representations of Corporeality Visualizing Texts, Reading Images Workshop IV, Dartmouth College (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 畑恵里子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 武蔵野書院	5. 総ページ数 184
3. 書名 畑恵里子編集 『享受される海洋文化－伝説・楽園・異界－』	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>科学研究費助成事業基盤研究(C)「海洋文化圏から見る浦島伝説の宗教観」研究成果公開HP https://urashima.sakura.ne.jp/top/ 立命館大学アート・リサーチセンター「系井文庫閲覧システム」 https://www.arc.ritsumeii.ac.jp/archive01/theater/html/maiduru/index.htm 静岡英和学院『静岡英和学院大学・静岡英和学院短期大学部紀要』 http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp</p>
--

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

<p>国際研究集会 パネルディスカッション「海洋文化としての伝説・楽園・異界」" Legends, Paradise, and the Other World, As Maritime Cultures "</p>	<p>開催年 2022年～2022年</p>
--	----------------------------

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------